

# 白山市行政経営指針2020

令和4年度 行財政改革取組事項実施報告

令和5年度 行財政改革取組事項実施計画

13の重点項目別達成目標に係る取り組み  
令和4年度実施報告・令和5年度実施計画

1 行政戦略

① 業務執行体制の充実

実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
			R5年度 実施計画	
1 事務事業 総点検 の充実	⑩平和 ⑪実施 手段	PDCAマネジメントサイクル の実施	R4 年度	・中期計画・予算編成時に見直しを実施 ・プロジェクトチーム数 R4:2チーム(R3:7チーム)
		プロジェクトチームを活用 した事務事業の実施	R5 年度	・引き続き中期計画・予算編成時で必要に 応じて見直しを実施 ・プロジェクトチームを積極的に活用
	⑪都市	公用車更新計画に基づく 適正管理  R6年度に稼働率71%	R4 年度	R4 更新台数14台(15台廃棄)、稼働率 66.7%(R3:66.5%)
			R5 年度	適正台数に向けて更新を進め、使用効率 の向上を図る 更新予定台数 10台(9台廃棄)、稼働率 69.0%
	⑪実施 手段	総合計画に基づくPDCA マネジメントサイクルの 実施  第2次総合計画 (計画期間H29-R8)	R4 年度	・総合計画審議会で進捗状況の確認(662 の取組のうち、93が目標を達成、504が一 定の進捗があると評価)
R5 年度			引き続き計画の進捗管理を適切に行い、計 画を着実に進めていく	
2 組織機構の 改革推進	⑩平和 ⑪実施 手段	市民ニーズに対応した 組織機構の改編  ※毎年度、組織機構を 見直し	R4 年度	組織機構全体の見直し ・庁舎警備室、国民文化祭推進室の設置 ・男女共同参画室を男女共同・人権推進室に、 子ども相談室をこども総合相談室にそれぞれ改 称
			R5 年度	社会のニーズに応えるよう組織機構の見直 しを検討・実施する。
3 SDGs の推進	⑪実施 手段	SDGs推進本部会議の 定例化  普及啓発事業の充実	R4 年度	・本部会は新型コロナウイルス感染症が収 まらないため未開催。 ・ティーンズロックin白山2022予選を開催 (白山青年会議所、松任高校生徒)。 ・海について大切さを学ぶイベントを開催 (千代野公民館、金城大学短期大学部等) ・SDGsカードゲーム教室を開催(金城大学 等)
			R5 年度	・千代野公民館、金城短大等と継続して事 業を実施。 ・ティーンズロックin白山2023予選を実施

## ② 計画的・効率的な事務事業の執行

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
4	中期計画の重点化	⑩都市	事務事業の選択と集中 (140件以下)	R4年度	R4: 125事業(R3: 118事業)
				R5年度	中期計画と予算の連動を高め、より計画的に事業を執行する。既存事業、新規事業を精査し、計画的かつ将来に向けた財政負担を軽減できるよう努める。
5	事務改善の実施	⑯平和 ⑰実施手段	1係1事務改善運動の推進 (全係で1件以上実施)	R4年度	全係で「1係1事務改善」150日チャレンジの取組を実施 R4:157件(R3:161件)
				R5年度	9月中旬から2月中旬まで実施
6	事務事業のアウトソーシング等の推進	⑩都市	アウトソーシングの推進 コンビニ交付による発行件数 (住民票等 800件・税務証明書 500件)	R4年度	マイナンバーカードを利用した住民票等の交付 ・コンビニエンスストアでの交付 ・本庁・支所及び市民サービスセンターに設置した自動交付機での交付 R4: 住民票等13,571件、税務証明書681件 (R3: 住民票等7,771件、税務証明書423件)
				R5年度	コンビニでマイナンバーカードによる証明書交付の利便性について周知に努める
7	AI・RPAの活用	⑨イノベーション	AI及びRPAを活用した定型業務の効率化 ・AI-OCR(紙の申請書をAIとOCRを使って電子化(エクセル化)) ・RPA(パソコン上で簡単な繰り返し作業を自動化するもの)	R4年度	会計伝票の審査処理、児童手当、所得照会、臨時特別給付金等、多数の業務で使用し業務の効率化が図られた
				R5年度	AI-OCR・RPA導入後3年が経過し、特性により適合可能性が高い業務・低い業務の判断ができるようになり、適合性が高い業務については、積極的な導入を行い業務の効率を図る。

## ③ 公共インフラの最適化

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
8	個別施設計画の策定	⑨イノベーション ⑩都市	個別施設計画の策定 ・白山市公共施設等個別施設計画(R3.3) ・白山市学校施設長寿命化計画(R3.3)	R4年度	小中学校施設の長寿命化改良工事等を実施した。
				R5年度	財政負担の平準化を図りながら改修等を実施する。
9	公共施設等総合管理計画の充実	⑨イノベーション ⑩都市	適正管理に取り組むことによる効果額の明示	R4年度	小中学校施設の長寿命化改良工事等を実施した。
				R5年度	財政負担の平準化を図りながら改修等を実施する。

## 2 財政戦略

### ① 市税等の自主財源の確保

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
10	税収拡大政策の推進	⑧成長・雇用	企業誘致による税収拡大 新工業団地の整備・分譲	R4年度	山島工業団地において、新たに企業が工場を増設し、操業を開始した。新工業団地は、土地区画整理事業認可を受け第1期エリアの区画造成を進め、全ての区画の分譲先が決定した。
				R5年度	新工業団地の整備を進め、企業誘致を図る。
		⑧成長・雇用 ⑫生産・消費	宿泊客数の増加 [目標値変更] 白山市総合計画(後期計画)の見直しにより、目標数値を変更  令和6年度 259,000人(変更前)⇒218,000人(変更後) ※R元年度実績 212,710人を基準として年0.5%増を見込む	R4年度	国・県が実施する観光需要喚起事業に併せて、市民に宿泊費の一部をキャッシュバックする宿泊応援事業を継続実施したが、新型コロナウイルス感染症拡大が収まりつつあり、地元ではなく、県外へ旅行に行く傾向が見られ、宿泊者の増加にはつながらなかった。126,327人(R3:139,486人)
				R5年度	地域内での着地型旅行商品の造成等により、地域の魅力の向上と発信を進めることで市内での宿泊者の増加を目指す。
11	納税相談の充実や滞納対策の強化、口座振替の推進等	⑪都市	口座振替率の向上(42.5%)	R4年度	40.0%(R3:39.9%)
				R5年度	納税相談等の早期対応に努め、財産調査の徹底とともに悪質滞納者への滞納処分を強化する。口座振替の推進について引き続き進める。
12	債権管理の充実	⑪都市	市税収納率(現年度)の向上(99.6%) その他債権の収納率向上	R4年度	99.69%(R3:99.74%)
				R5年度	強制徴収債権の担当課で情報共有の徹底とともに、滞納処分の執行についても連携を図る。
13	使用料や手数料の適正な金額への見直し	⑫生産・消費 ⑯平和	適正な金額への見直し	R4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3.1月から住民票や市税証明関係のコンビニ交付が開始。必要手数料を設定</li> <li>・R3.2月からキオスク端末による証明書等の発行が開始。必要手数料を設定</li> <li>・R2.10月から窓口でのキャッシュレス決済開始。必要手数料を設定(文化施設等にも導入)</li> <li>・施設改修に合わせて、使用料金を見直し(R3.4～鶴来ほうらい荘)</li> <li>・R4.10月から証明書等の電子申請にかかる必要手数料を設定</li> </ul>
				R5年度	毎年度予算編成方針の中で、適正な積算について周知、見直しを図る。

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
14	有料広告媒体の創出	⑯平和 ⑰実施 手段	広告料収入 5,000千円以上 新たな有料広告媒体の創出	R4 年度	市広報、市HPバナー、市民課窓口、コミュニティバス(バス停・車内等)、水道検針票のお知らせなどの媒体で実施。 8,364千円(R3:4,864千円)
				R5 年度	新たな媒体の可能性等について研究する。
15	ふるさと納税制度の推進	⑯平和 ⑰実施 手段	ふるさと納税額 (2億円(200,000千円)以上)	R4 年度	490,689千円(R3:422,430千円)
				R5 年度	寄付金収入の増加を目指し、安定した自主財源へとつなげていく

## ② 基金の有効活用

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
16	財政調整基金や減債基金の時宜に応じた有効的な運用	⑯平和 ⑰実施 手段	適正水準の確保	R4 年度	R4年度末の残高 財政調整基金2,990,753千円(R3:2,992,578千円)、減債基金739,021千円(R3:同額)
				R5 年度	中期計画や予算編成において財政調整基金等の時宜に応じた有効・計画的な運用を行い、基金の適正水準を維持する。
17	未利用資産の売却による公共施設整備基金の確保と活用	⑯平和 ⑰実施 手段	未利用資産の売却件数 15件/年以上  ※当初の目標「空きスペースの有効活用」については未耐震施設であるなど、活用が困難であるため、基金の確保に向け、目標を変更した。	R4 年度	17件 13,549千円 (R3:25件 61,779千円)
				R5 年度	未利用資産(法定外公共物含む)の売却を積極的に行い基金の確保、有効活用を図る

## ③ 適正な財政規模の確立

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
18	事業実施計画に基づく財政計画の実行	⑯平和 ⑰実施 手段	中期実施計画に基づいた実施	R4 年度	前年度中期計画を反映した当初予算の編成を行った。 R3中期財政計画におけるR4一般会計予算見込55,008百万円 R4一般会計当初予算額 52,154百万円
				R5 年度	・将来負担を考慮した費用の平準化 ・計画を議会に示し事業実施順位や費用の見える化を推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
19	財政指標の適正化	⑩平和 ⑪実施手段	経常収支比率の適正水準を維持 (地方税、地方交付税などの経常的な一般財源が、どの程度経常的な経費に充てられているかを示す数値)	R4年度	経常収支比率 (R3決算:88.2%R2:94.7%) ・分母:前年比+3,589百万円(地方税+1,179百万円、地方交付税+1,614百万円、臨時財政対策債+795百万円) ・分子:前年比+1,097百万円(猶予特例債の償還等による公債費の増+807百万円)
				R5年度	経常収支比率の適正維持
20	特別会計及び企業会計の経営健全化 ・国民健康保険特別会計(国保) ・介護保険特別会計(介護) ・後期高齢者医療特別会計(後期) ・墓地公苑特別会計(墓地)	③保健 ⑥水・衛生	特別会計の健全化 国保:保険税率等の見直し 介護:口座振替の周知徹底 後期:保険料の見直し 墓地:竹松墓地50区画以上/年の貸与、合葬墓の貸与30件	R4年度	・国保:未就学児に係る均等割保険税を5割軽減、課税限度額を引き上げた。 ・後期:R4.5年度保険料率の見直しを実施 ・介護:インターネットでの口座振替の申込みについて周知に努めた。 ・墓地:竹松墓地 貸与区画数51区画(R3:49区画)、合葬墓埋蔵件数53件(R3:61件)
				R5年度	・国保・後期:税率改正の検討 ・後期:保険料率改正の検討 ・介護:口座振替納付を推進 ・墓地:竹松墓地公苑新規区画貸与50区画、合葬墓埋蔵件数30件を見込む
		⑥水・衛生	上下水道料金体系の継続的な見直し ※上下水道料金検討委員会からの答申に基づき、白山ろく簡易水道料金の改定と事業計画による施設整備を推進する。	R4年度	白山ろく地域をその他の上水道料金を統一するため、5年間で段階的に3段階で引き上げることとしており、R3.4.1に第1段階の料金改定を実施。R5.4.1に第2段階の料金改定を実施することについて市広報で周知を行った。
				R5年度	計画のとおり料金改定を実施する。
21	補助金・負担金等の見直し	⑩平和	適正な金額への見直し	R4年度	当初予算補助金計上額:2,281,961千円(R3:2,099,901千円)前年比 +182,060千円
				R5年度	引き続き、当初予算編成時に補助金一覧表を作成、決算時に補助金決算調書の作成を行い、現状周知・把握及び随時見直しを行う。
22	セグメント分析の活用	⑩平和	分析により施設を横断的に比較し、公共施設総合管理計画に結果を反映	R4年度	社会教育系施設でのセグメント分析の研究(決算資料等を参考に一部の公民館を対象に財務諸表を作成した)
				R5年度	公民館の対象をさらに拡大しながら集計手法やデータの蓄積を踏まえ、地域ごとに順次分析していく

④ プライマリーバランスを意識した均衡ある市債の活用

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
23	財政計画に基づく市債の発行と市債残高の抑制	⑩平和 ⑪実施手段	実質公債費比率の適正水準維持 ※収入のうちどれくらいを借金返済にあてているかを示すもの 18%以上 起債許可制	R4年度	R3決算ベース11.0%(R2:10.5%) 猶予特例債の元利償還金等による増
				R5年度	引き続き、財政計画に基づく市債発行と市債残高抑制を行う。
24	起債事業のスリム化、優先度の明確化、平準化	⑩平和 ⑪実施手段	中期事業実施計画に基づいた実施	R4年度	R3年度末残高 84,181百万円(R2年度末:84,860千円) 交付税措置率 約67% 活用事例: 公民館改修事業584,800千円(緊防) 体育施設改修事業401,600千円(緊防) スキー場施設整備事業120,500千円(辺地) 鳥越中学校大規模改造事業161,800千円(過疎)
				R5年度	中期実施計画に基づき起債を管理 有利な起債(交付税措置が高いもの)の活用

⑤ 市が出資する外郭団体等の経営改善

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
25	自立的な経営の確立を促進	⑮陸上資源	土地開発公社の経営健全化 ・簿価総額/標準財政規模を20%以下 ・5年以上保有土地の簿価総額/標準財政規模を10%以下	R4年度	・簿価総額/市標準財政規模 7.33%(R3:7.73%) ・5年以上保有土地の簿価総額/市標準財政規模3.24%(R3:2.78%)
				R5年度	総務省の第3次土地開発公社経営健全化対策に基づき、引き続き経営の健全化に取り組む。
		⑧成長・雇用 ⑫生産・消費	地域振興公社の経営健全化 ・職員数の適正化(R6年度に42人以下)	R4年度	職員数 46人(R3:47人)
				R5年度	人員の削減による経営の健全化を図る

### 3 人材戦略

#### ① 働き方改革の推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
26	ワーク・ライフ・バランスの推進	⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	年次有給休暇取得の促進 (R6平均取得日数12日/人以上)	R4年度	9.9日/人(R3:8.8)
				R5年度	年次有給休暇や夏季休暇等の特別休暇も含め、取得促進を奨励し、職員に周知を図る。
		⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	男性職員の育児休暇取得の促進(R6取得率20%以上)	R4年度	37.5%(取得者3人/対象者8人)(R3:62.5%)
				R5年度	子が誕生した男性職員に育児休業取得を勧める。
27	メンタルヘルス対策の推進	⑧成長・雇用	ストレスの少ない職場環境 (R6 高ストレス職員の割合10%以下)	R4年度	17.9%(高ストレス職員数162人/全職員数(会計年度任用職員含む)904人)(R3:15.1%)
				R5年度	ストレスチェックを踏まえて、所属長への聞き取りや産業医による高ストレス者への面談指導等を通じ、より良い職場環境の実現に努める。
28	ハラスメントの防止	⑧成長・雇用	ハラスメント研修の実施	R4年度	全職員を対象としたハラスメント研修を実施
				R5年度	継続したハラスメント研修を実施

#### ② 多様な人材確保と育成の推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
29	女性職員の活躍推進	⑤ジェンダー ⑧成長・雇用	管理職に占める女性の割合 (令和6年度 30%)	R4年度	31.6%(女性 31人/管理職 98人)(R3:26.0%)
				R5年度	各種研修や所属長との面談、指導等を通して、職員の資質向上を図り、女性管理職を目指す職員の育成に努める。
30	人事評価制度の活用	⑧成長・雇用	人事評価制度の評価結果の反映(昇給・昇格・手当への反映)  ・H28年度～ 一部制度導入 ※勤奨手当算定の参考	R4年度	年度当初に当該年度の目標の設定、年3回(当初・中間・期末)の所属職員と所属長との面談・評価結果のフィードバック等を実施することで、業務の進捗を確認し、職員の育成を図ってきた。評価レベルの均一化を図るため、年度当初に評価者研修を行い、面談の進め方等について、外部講師による研修を実施した。
				R5年度	当該年度の目標の設定及び所属職員と所属長との面談・評価結果のフィードバック等を実施することで、業務の進捗を確認しながら、職員の育成を図る。評価者研修等を通じて、評価レベルが均一化され、マニュアルに従った人事評価が実施する。
31	研修制度の充実	⑧成長・雇用	指定研修※の受講率向上 (150%以上) ※市町村アカデミー、国際文化アカデミー、NOMA、自治大学校、自治研修センター、職員課企画研修	R4年度	96.3% (受講者数696人/職員数723人) (R3:117.9%)
				R5年度	・業務に関する知識、技術の向上に資する研修の企画、実施する。 ・職員に研修への参加を積極的に促す。



## 4 市民協働・広域連携戦略

### ① 市民協働で創るまちづくりの推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
32	地域が自主的、主体的に考え組織し、行動するまちづくりの推進	⑩都市 ⑰実施手段	地域コミュニティ組織の創設全地区(28地区)	R4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織設立 9地区(石川、中奥、林中、山島、千代野、美川、蝶屋、湊、白峰)</li> <li>・設立準備会 12地区(松任、柏野、宮保、出城、御手洗、加賀野、一ノ宮、蔵山、林、館畑、河内、鳥越)</li> </ul>
				R5年度	市内全28区において、地域コミュニティ組織設立に向けた試行的活動の実施 ・令和6年度の実施に向けて、令和5年度中の組織設立の促進を図る。 ・地区説明会、意見交換会、報告会の開催 ・地域コミュニティリーダー等養成研修の開催
33	女性や若者、高齢者の参画に基づく地域づくり	⑩都市 ⑰実施手段	多様な市民が地域づくりに参画する機会の創出(講習会 年1回以上)	R4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区意見交換会 2回開催(鳥越、河内地区)</li> <li>・地域づくり交流会 4回開催</li> </ul>
				R5年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域コミュニティフォーラムの開催(対象:一般)</li> <li>・地区意見交換会(対象:組織設立の地区)</li> <li>・地区大交流会(対象:全地区)</li> </ul>
		③保健 ⑩都市	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が参加する研修会の開催</li> <li>・サポーターを増員 介護予防サポーター10人/年 生活支援サポーター10人/年 認知症サポーター750人/年</li> </ul>	R4年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活支援サポーター養成講座1コース(3回/1コース)</li> <li>・介護予防サポーター養成講座1コース(3回/1コース)</li> <li>・生活支援サポータースキルアップ講座2回</li> <li>・介護予防サポータースキルアップ講座2回</li> <li>・認知症サポーター養成講座8回</li> </ul>
				R5年度	引き続き高齢者が参加できる研修会を開催
		⑤ジェンダー	審議会等の女性委員比率(40%)	R4年度	30.8%(R3:29.5%)
				R5年度	委員改選の際に積極的な登用を図る
		⑰実施手段	市内全域に町内会の福祉協力員を配置(R6までに280町内会に配置)	R4年度	272町内会(R3:274町内会)
				R5年度	・地区の会議に参加し、町内会長、市民へ一層の周知を図る

## ② 市民・市民活動団体・高等教育機関等との連携推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
34	オープンデータ等行政情報の提供による市民との自主的、自発的な活動の支援	⑨イノベーション	石川中央都市圏単位で共同データを公開	R4年度	石川中央都市圏で決定した項目について、全て公開
				R5年度	引き続き石川中央都市圏で決定した項目を公開する
		⑪都市	まちかど市民講座を開催(R6年度 130回以上) ※内容を工夫し、市民の意見や提案を聴けるようにする。	R4年度	119件(R3:79件) 開催数が多かった講座 ・「ふるさとデジタル紙芝居」13回 ・「ジオパークって何だ?!」「ジオパークの見どころに迫る!」12回 ・「知って得する消費トラブル対処法」10回 ・「市民協働で創るまちづくり」10回
				R5年度	目標120回(新規講座:鳥獣害対策について等)
35	高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組みの充実	⑪都市 ⑰実施手段	高等教育機関との連携事業数を増加(70件)	R4年度	高等教育機関等連携事業 48件(R3:33件)
				R5年度	・高等教育機関と連携した地域課題に対する調査・研究の実施  大学コンソーシアム石川の地域課題研究ゼミナール支援事業や高等教育機関との連携により、専門性を活かし、地域課題の解決や活性化を目的とした事業の調整等を行う。
(3)	SDGsの推進(再掲)	⑰実施手段	SDGs推進に向けた団体との連携充実(毎年5団体以上と連携して事業を実施)	R4年度	関係団体と連携した普及啓発活動を実施。11団体(金沢工業大学、NTTドコモ、白山青年会議所、千代野公民館、吉本興業(ぶんぶんポウル)、金城大学短期大学部、北陸電力(株)、日本郵政、北國新聞、イオン、LODU)(R3:11団体)
				R5年度	各種団体と連携し、普及啓発活動を行う

## ③ 広域連携の推進

	実施項目	SDGs	達成目標等	R4年度 実施報告	
				R5年度 実施計画	
36	石川中央都市圏における連携推進	③保健 ④教育 ⑪都市 ⑰平和	連携中枢都市圏における連携推進  ・石川中央都市圏ビジョンに基づく広域的な取組	R4年度	広域連携実施事業77事業(R3:70事業)
				R5年度	連携の強化を推進していく